

日医発第 2176 号（総務）
令和 5 年 2 月 17 日

都道府県医師会担当理事 殿

公益社団法人 日本医師会
常任理事 釜 菡 敏
(公印省略)

本会会長から非医師会員に対する親書の送付について

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ご案内の通り、本会では去る 2 月 1 日付日医発第 2047 号（総務）文書にて、貴会又は貴会管内郡市区等医師会の会員で本会未入会者に対し、本会までの入会を勧誘いただくよう、ご依頼しているところであります。

その際の一助として、また、広く非会員に対する入会呼びかけのメッセージとなるよう、今般、標記親書をご用意いたしました。

貴会における組織強化に向けた取り組みに際し、広くご活用いただければ幸いです。引き続き、特段のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本医師会への入会について(お願い)

先生方におかれましては、我が国の国民医療の増進に多大なるご尽力をいただいておりますこと、心より感謝を申し上げます。

日本医師会は、医師個人の資格で加入する我が国唯一の医療界を代表する組織であり、医師たる者には、全て日本医師会に入会してほしいと考えております。そして、我が国の医療が医師にとっても、国民にとってもより良きものとなるよう、会員各位と力を合わせて、医療界が求める制度や政策等を実現していきたいと思っております。

我が国の医療は、全て制度や政策等の上に成り立っています。換言すれば、医療に関する制度や政策がいったん決定すれば、全ての医師がその決定に縛られることとなります。

医療界が求める制度・政策等を実現するためには、その決定プロセスに日本医師会が深く関与する必要がある、日本医師会を通じて医療界の意見等をその決定プロセスに反映させていくことが必要です。

様々なステークホルダーが参画する医療政策を検討する場において、より説得力のある議論を展開するためには、より多くの会員各位の後押しが必要です。そして、そのことが、日本医師会の組織強化と発言力の強化、ひいては、先生ご自身の職務を存分に全うできる環境を実現することにつながると考えております。

まさに先生方お一人おひとりに日本医師会に入会していただくことが、今後の我が国の医療を変えていくことになると確信しておりますので、日本医師会への入会方について、ぜひご検討いただければ幸いです。

令和5年2月

公益社団法人 日本医師会

会長

松本吉郎

